

ダッシュボードを活用した徒歩促進の実証実験(スマートシティウェルネスシティ協議会)

■都市課題

- 健康寿命の延伸
- まちの賑わい向上

■解決方策

- 健康行動(歩行・回遊)の促進
- 持続的な市民参加(健康プログラムへの参加等)

■KPI

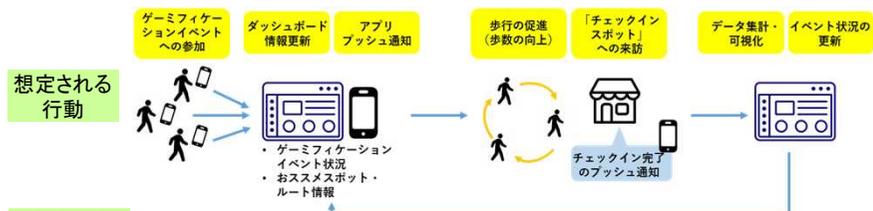
- 平均歩行時間
- 観光消費額

■実証実験の概要・目的

アプリ等による行動履歴や店舗等の情報提供による徒歩促進の**行動変容**の効果検証と、仕組みの継続に向けた**ビジネスモデル**の検証

■実証実験の内容

健康意識・参加意識の高い市民を対象に、アプリの活用およびゲーミフィケーションの実施(歩数等の対抗イベント)により取得した行動履歴により、行動変容の把握と、ビジネスモデルとしての課題抽出等に係る検討を行う。



アプリによる情報取得



利用者の健康行動(歩行・移動)への効果

ダッシュボードによる経路・エリア情報提供



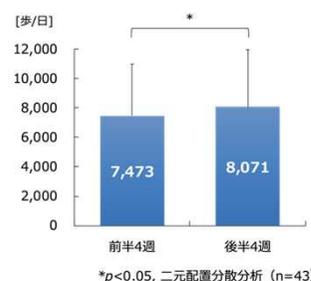
メリット、費用負担、運営体制等
ビジネスモデルとしての課題抽出

■実証実験で得られた成果・知見

行動変容

訴求効果としては限定的ではあるものの一定の歩数の増加とチェックインスポットを含む特徴的な移動パターンの出現が確認できた

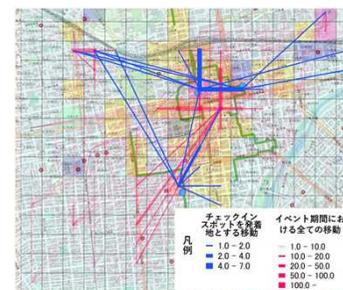
歩数の変化



ビジネスモデル

歩数増加・移動誘発の投資対効果検証の深度化が課題として確認できた。今後、健康情報を扱う民間事業者等によるダッシュボード運営体制等が想定される

特徴的な移動パターンの抽出



■今後の予定

- 持続性のある事業モデルの検討
- 訴求力のある情報提供手法・ゲーミフィケーションの改善検討(適用可能性の深堀検討等)
- 都心部地下空間の混雑度情報の継続運用
- 官民連携のデータ共有の仕組みの検討 等